

別添様式

都道府県、政令市名	静岡県		
基金の名称	静岡県地球環境保全等に関する基金		
基金の目的	環境保全に関する知識の普及、環境保全活動の促進その他環境の保全に資する事業に要する経費に充てる		
26年度末基金総額(a=b+c+d+e)	406,196,943	25年度末基金総額	481,644,917
うち国費相当額(b)	200,000,000	▲26年度基金執行額	80,502,783
うち地方負担相当額(c)	206,196,943	26年度基金運用益	5,054,809
うち運用益(国費相当分)(d)	0	26年度その他造成額	0
うち運用益(地方負担相当分)(e)	0		

基金事業の概要及び執行額の内訳

1 地下水を活用した熱交換システム構築事業費	
執行額	4,443千円(うち基金充当額3,720千円)
目的	省エネルギー対策やエネルギーの地産地消を進めるため、地下水を活用した熱交換システムモデルの構築等によるシステムの普及を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> 地下水熱エネルギー利用普及促進協議会の開催(2回):システムモデルから採取したデータの検討及びマップ・マニュアルの内容検討(企業・学識者・自治体職員で構成) 導入適地マップ(2,000部)、導入マニュアル(400部)を作成し、企業やメーカー等に配布し、導入を促進
2 エコチャレンジ推進事業費	
執行額	9,459千円(うち、基金充当額9,459千円)
目的	県民運動「ふじのくにエコチャレンジ」の展開により、温室効果ガス排出量の増加が著しい家庭やオフィス等の民生部門における排出削減を図る。
期間	平成26年6月から平成27年3月
実績	<p>県民運動への参加実績</p> <ul style="list-style-type: none"> エコチャレンジACTION(エコ活動の報告):1,805チーム109,599人(CO2削減量572t) エコチャレンジBANK(省エネコンテスト):1,262件37,825人(CO2削減量1,526t) エコチャレンジKIDs(小学生向け体験学習):91校5,502人(CO2削減量8t) エコチャレンジCHECK(チェックシートでの点検):8市町7,136人(CO2削減量591t)
3 中小企業エコマネジメント推進事業費	
執行額	1,838千円(うち、基金充当額1,803千円)
目的	産業・業務部門における温室効果ガスの排出削減対策の一環として、県内事業所のエコアクション21の取得を促進するための総合的な支援を行う。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ相談窓口の開設:相談件数46件 支援制度等説明会の開催:参加者121名 取得者向け研修回:参加者54名
4 地球温暖化対策推進事業費	
執行額	3,664千円(うち基金充当額387千円)
目的	地球温暖化防止に向けた県民意識の向上を図る。
期間	通年

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県地球温暖化防止県民会議の開催(構成員:産業部門、家庭部門、行政等の団体、企業及び学識経験者) 「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」の進捗状況の点検・評価、ならびに施策の追加、改善の提案 地球温暖化対策に関する普及啓発に関する提案 <ul style="list-style-type: none"> ・県民会議(2回) ・同計画検討評価部会(5回) ・地球温暖化防止活動の表彰:4部門4団体
5 地球に優しい“ふじのくに”推進事業費	
執行額	11,096千円(うち基金充当額3,215千円)
目的	環境基本計画の進捗管理、環境保全活動の普及啓発等により、本県の環境施策全般の推進を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境月間県民大会の開催(平成26年6月7日):参加者約410人 ・子ども環境作文コンクールの開催:参加119校783編、うち、42編を表彰 ・啓発冊子の発行:2,980冊 ・エコツアーリズムに関するHPの公開
6 温室効果ガス削減対策支援事業費助成	
執行額	5,843千円(うち基金充当額5,843千円)
目的	産業部門、業務部門からの温室効果ガス排出量削減を図る。
期間	平成26年6月から平成27年3月
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・補助実績:11社5,843千円(CO2削減量130.6t)
公募状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要領名:平成26年度温室効果ガス削減対策事業費補助事業公募要領 ・募集期間:平成26年4月30日から12月25日 ・審査基準:温室効果ガス削減対策事業費補助金交付申請書チェックリストのとおり ・審査体制:静岡県くらし・環境部環境局環境政策課にて審査
7 環境教育推進事業費	
執行額	5,613千円(うち基金充当額4,981千円)
目的	地域環境保全活動の推進役となる人材の育成を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習指導員養成講座の開催:修了者16人(のべ11日開催) ・環境学習フェスティバルの開催:行事数92、参加団体46 ・環境学習データバンクの運営:HPIによる情報発信(随時)
8 県民参加の森づくり推進事業費	
執行額	8,751千円(うち基金充当額6,179千円)
目的	地球温暖化防止などの公益的機能を持つ森林環境の保全意識を醸成する。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくりNPO等との協働による県民参加型の地域行事を開催:248事業、参加27,777人 ・森づくり活動に寄与する企業を「森づくりサポーター」として認定:11団体
9 芝生文化創造プロジェクト事業費	
執行額	9,272千円(うち基金充当額9,272千円)
目的	環境学習・環境教育における体験学習機会の拡充や、都市の熱環境の改善による低炭素都市形成に向けて、年間を通じ常緑である芝生地の普及拡大を図る。
期間	通年

実績	<ul style="list-style-type: none">・国内実績の浅い寒地型芝種を育成し、低管理下での利用可能性調査・養生期間短縮のための調査
----	---

10 県有林管理事業費	
執行額	389千円(うち基金充当額389千円)
目的	千本悠久の森について、地域住民との協働管理を導入する。
期間	通年
実績	・地元住民との協働による森林管理:草刈活動等の実施(年4回)
11 生物多様性地域戦略策定事業費	
執行額	5,600千円(うち基金充当額5,600千円)
目的	生物多様性地域戦略を策定し、県民の生物多様性保全意識の高揚及び県民等の多様な主体との協働による生物多様性保全の取組の促進を図る。
期間	通年
実績	・県内希少動植物の生息・生育実態調査の実施
12 野生鳥獣緊急対策事業費	
執行額	2,447千円(うち基金充当額2,447千円)
目的	ニホンジカの食害により消滅の危機に瀕している南アルプスの高山植物群落を防鹿柵整備により、保護する。
期間	通年
実績	・学生ボランティア等との協働による防鹿柵の設置:3箇所
13 富士山環境保全推進事業費	
執行額	19,888千円(うち基金充当額18,134千円)
目的	富士山の環境保全活動の実践と県民の富士山環境保全に関する知識の普及を図る。
期間	通年
実績	・登山者や留学生を対象としたマナー啓発を兼ねた清掃活動の実施 ・山麓周辺道路沿い(3回):参加者171名 ・登山道沿い(2回):参加者707名 ・多言語マナーガイドブック等の作成:70,000部
14 元気な浜名湖づくり推進事業費	
執行額	2,503千円(うち基金充当額2,203千円)
目的	環境保全に関する知識を普及することにより、地元が主体となった環境保全の取組を促進する。
期間	通年
実績	・浜名湖流域で活動する団体の活動内容及びイベント情報の発信:ホームページ及び情報誌(年4回発行) ・環境教育プログラムの実施(2回):参加者88名

15 自然環境保全総合対策事業費	
執行額	9,879千円(うち基金充当額1,652千円)
目的	南アルプスの高山植物の保護対策を実施する。 南アルプス国立公園指定50周年事業を通じ、その魅力を発信する。
期間	通年
実績	・高山植物保護指導員の委嘱及び研修会の開催 ・南アルプス国立公園指定50周年記念事業の開催: 県内3会場(参加者等約13,350人)
16 野生生物保護管理推進事業費	
執行額	34,243千円(うち基金充当額2,835千円)
目的	県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物を、県民等との協働で保護・保全する。
期間	通年
実績	・ボランティアとの協働による南アルプス植生回復状況調査の実施 ・アカウミガメの上陸・産卵状況調査活動に対する支援
17 循環型社会形成推進事業費	
執行額	7,618千円(うち基金充当額1,182千円)
目的	廃棄物の減量化のため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の3Rを推進するとともに、環境への負荷の少ない循環型の社会づくりを進める。
期間	通年
実績	・ごみゼロアイデアコンテストの開催及び優秀事例の表彰: 応募560件、うち、6件を表彰 ・資源・リサイクルフォーラムの開催: 参加約400人(平成26年10月16日) ・ふじのくにエコショップ宣言登録店舗: 865件(3Rや環境配慮に取り組む販売店の情報をHPIにて発信)
18 水資源企画調整事業費	
執行額	742千円(うち基金充当額742千円)
目的	県民の水資源を守る意識の高揚を図るため、幅広い啓発活動を展開する。
期間	通年
実績	・「水の週間記念作文コンクール」の開催及び優秀作品の表彰: 参加16校361編、うち、15編を表彰 ・水の出前教室の開催: 参加74校131講座4,600人
19 長島ダム流域連携事業費助成	
執行額	4,259千円(うち基金充当額460千円)
目的	流域における交流人口の増加や水資源等への持続的な関心と問題意識及び理解の向上により、水源地域の自立的・継続的な振興と流域全体の発展に寄与する。
期間	通年
実績	・大井川長島ダム流域連携協議会と共同で長島ダム周辺への植栽・植樹イベントの開催(平成26年10月)